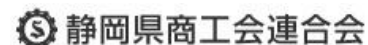


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【平成 31 年 2 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 31 年 2 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 31 年 2 月 28 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【消費増税に絡む商機獲得に向けた動きが活発化し、全体の景況感を押し上げ】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-6.1（前月-8.4、前年同月-4.5）で、前月比 2.3pt 好転した。今秋の消費増税を控え、建設業における駆け込み需要が見られたほか、小売業においても消費促進効果を期待してキャッシュレス化が進む等、消費増税前の商機獲得に向けた動きが活発になりつつある。

【製造業】

業況は-9.8（前月-7.9、前年同月 2.7）と前月に比べ 1.9pt 悪化した。伊豆地域では恒例の桜まつりの開催による需要の高まりにより食料品製造業の業況が改善された一方、その他の地域では、中堅規模の製造業の倒産が発生する等、製造業全体を取り巻く環境は厳しいと考えられる。

【建設業】

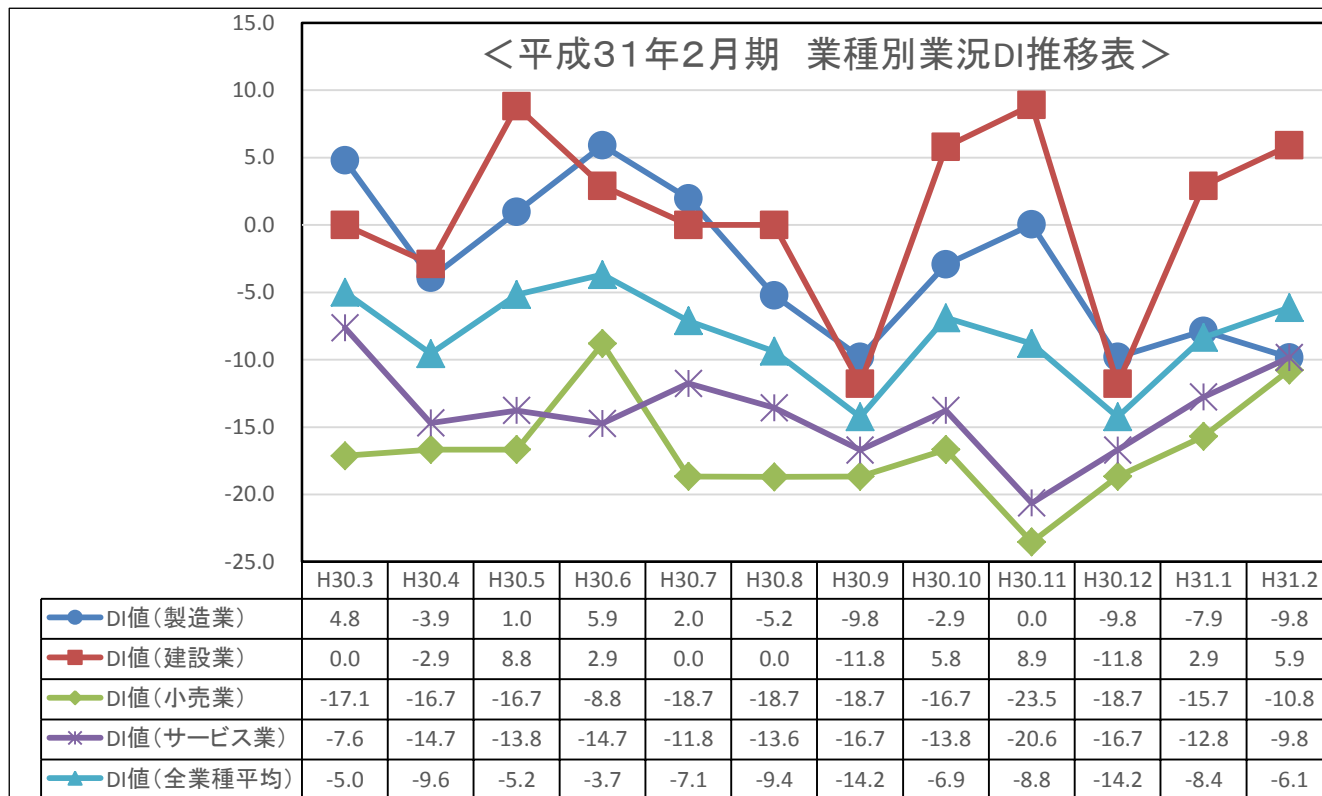
業況は 5.9（前月 2.9、前年同月 13.5）と前月に比べ 3.0pt 好転した。西部地域では昨年度に発生した台風被害への対応が継続しているほか、一部、消費増税前の駆け込み需要が見られる等、今後も安定した需要が期待できる。

【小売業】

業況は-10.8（前月-15.7、前年同月-20.7）と前月に比べ 4.9pt 好転した。伊豆地域における桜まつりの開催により食料品小売業の業況が改善された。また、キャッシュレス対応に取り組む事業者も出始める中、消費促進効果を期待する声がある一方で、不安や慎重になる事業者の声も聞かれている。

【サービス業】

業況は-9.8（前月-12.8、前年同月-13.5）と前月に比べ 3.0pt 好転した。伊豆地域の桜まつりに関連した宿泊者の増加等、季節的な需要の高まりによる業況の改善が見られた。一方で、依然として人手不足による受入体制が整わないなど、人材確保に係る課題が根強いことも浮き彫りになった。



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食料品製造業については、桜まつりの効果もあり、業績は順調である。(伊豆)
- ・後継者不在先は、代表者の高齢化もあり、あえて受注を減らす事例も見られる。(富士駿東)
- ・原料価格の上昇に伴う売価見直しに向け、大手メーカーの動きを注視している。(中部)
- ・従業員 30 名程度の印刷業者が倒産する等、製造業を取り巻く環境は厳しい。(中東遠)
- ・自動車関連事業は、受注単価は厳しいものの、受注量は安定しており、3月まではフル稼働が期待できる。(西遠)

【建設業】

- ・道路の新設に係る案件は好調だが、それ以外は低調である。(伊豆)
- ・不動産賃貸大手の不祥事を受け、その対応に係る需要が増えつつある。(富士駿東)
- ・基礎工事に関する建設業者が忙しい状況であり、消費増税前の駆け込み需要が影響しているものと思われる。(中部)
- ・消費増税前の駆け込み需要から受注は増えている。また、昨年発生した台風被害による補修依頼も依然として多い。(中東遠)
- ・昨年発生した台風被害への対応が続いているが、資材や人材確保に関する課題も根強い。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食料品関連については、桜まつりに係る観光客の流入により、売上が伸びている。(伊豆)
- ・キャッシュレス化に対応した事業者も出始めたが、事務面で課題を抱えている。(富士駿東)
- ・耐久消費財は横ばいで推移している。一部、海外生産品については、円安の影響から利益率の低下を危惧している。(中部)
- ・近隣に大型スーパーの出店が決定したが、衣料品小売等においては、地域内への買い物客の流入増加による商機に繋がると期待する声もある。(中東遠)
- ・キャッシュレス化への対応が進む中、今後の消費促進効果に期待する声が聞かれた。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・桜まつりの影響から観光客も多く、前月よりも好調であった。(伊豆)
- ・飲食店では、輸送費等の上昇の影響から仕入価格の高騰を危惧している。(富士駿東)
- ・旅館業では順調な先がある一方、人手不足による受入体制に課題を抱えている。(中部)
- ・大きな変化はなく、横ばいで推移している。(中東遠)
- ・サービス業においても人手不足が慢性化している。(西遠)

小規模企業景気動向調査（平成31年2月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-26.4	好転
売上	-14.6	-17.6	増加
仕入単価	14.7	3.0	上昇
採算	-26.5	-26.5	不変
資金繰り	-11.8	-14.7	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.9	-8.9	不変
売上	-11.8	-11.8	不変
仕入単価	2.9	5.9	低下
採算	-11.7	-11.7	不変
資金繰り	-8.8	-5.9	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	2.9	11.7	悪化
売上	0.0	14.7	減少
仕入単価	26.5	23.6	上昇
採算	-5.9	-5.9	不変
資金繰り	-5.9	0.0	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	5.9	2.9	好転
売上	5.9	0.0	増加
仕入単価	23.5	23.5	不変
採算	-5.9	-5.9	不変
資金繰り	-8.8	-11.8	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-20.6	好転
売上	-14.6	-26.5	増加
仕入単価	0.0	-2.9	上昇
採算	-11.8	-20.6	好転
資金繰り	-14.7	-20.6	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.8	-14.7	好転
売上	-17.7	-17.7	不変
仕入単価	11.8	17.6	低下
採算	-29.4	-32.4	好転
資金繰り	-11.7	-11.7	不変

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.8	-11.8	好転
売上	-17.7	-14.7	減少
仕入単価	11.8	14.7	低下
採算	-14.7	-14.7	不変
資金繰り	-11.8	-17.6	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-3.0	-5.9	好転
売上	2.9	-8.8	増加
仕入単価	8.8	8.8	不変
採算	-11.8	-5.9	悪化
資金繰り	-11.8	-8.8	悪化

9.洗濯業

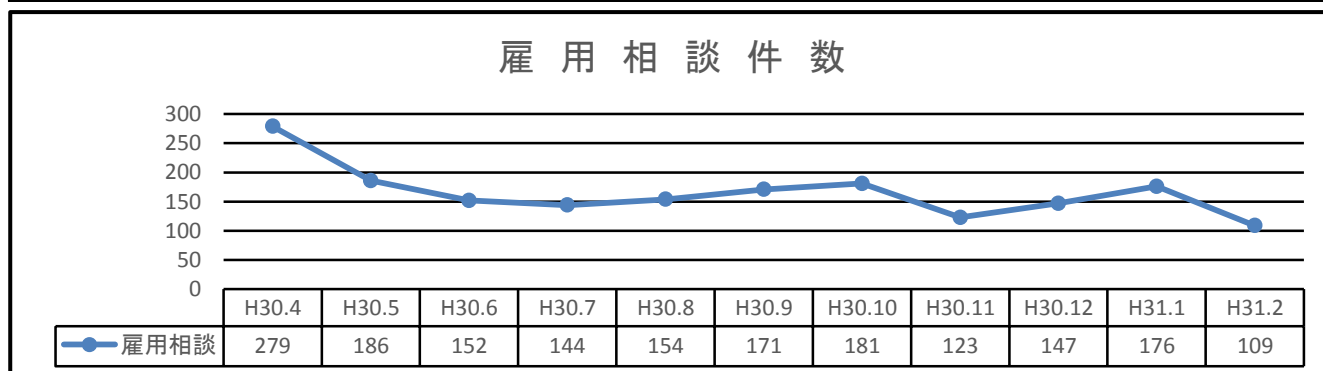
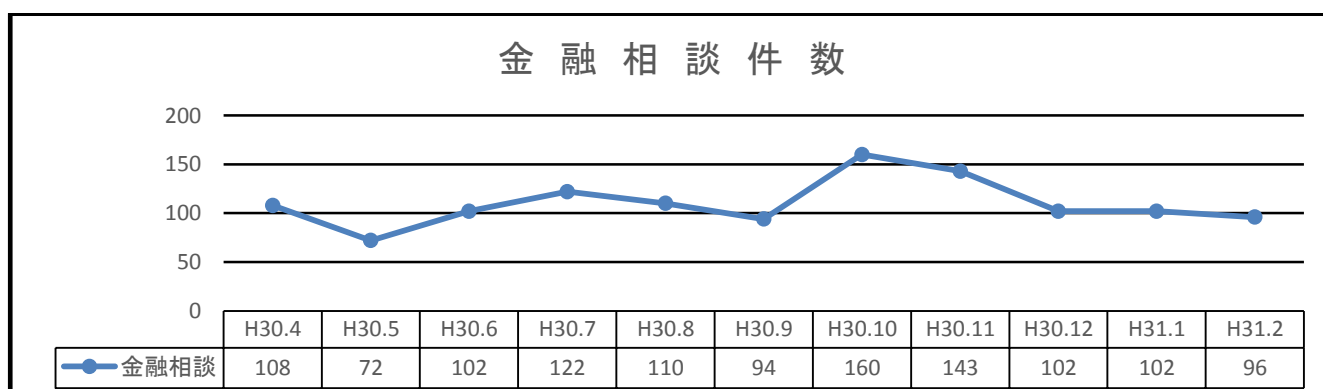
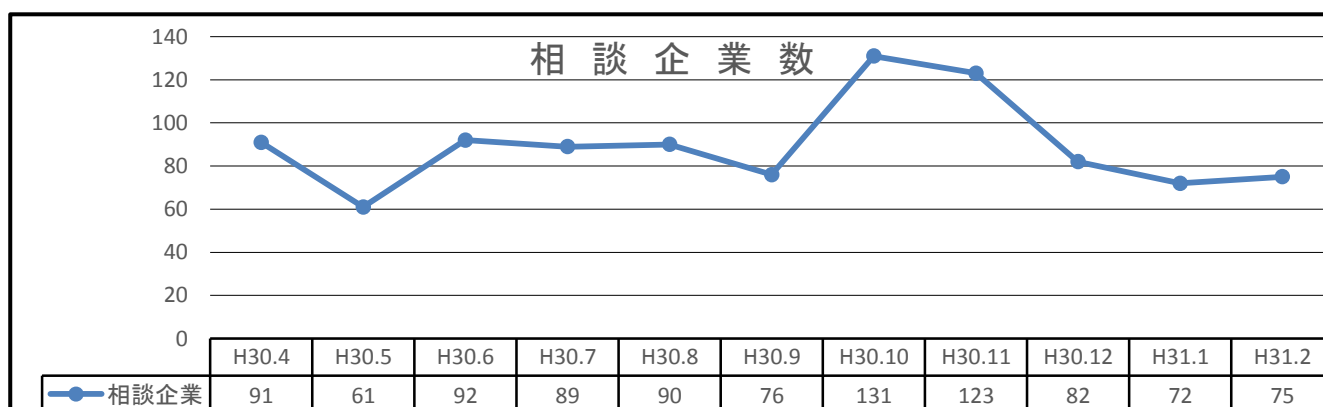
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-17.7	好転
売上	-20.6	-14.7	減少
仕入単価	5.9	11.8	低下
採算	-2.9	-14.7	好転
資金繰り	-11.8	-14.7	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-14.7	不変
売上	-11.8	-5.9	減少
仕入単価	2.9	2.9	不変
採算	-5.9	-11.8	好転
資金繰り	-5.9	-8.8	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 31 年 2 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	75	72	3
【金融相談件数】	96	102	-6
新規融資（借換えを除く）	66	63	3
既存債務の借換え	29	33	-4
借入れ条件変更	0	1	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	1	5	-4
【雇用相談件数】	109	176	-67



【金融相談】

金融相談件数は、96件と前月(102件)に比べ6件減少した。全体的に融資に関する相談は低調であり、資金相談についても資金繰り改善を目的とした運転資金の相談が多くを占めた。

<経営指導員コメント>

- ・例年になく資金需要が低調である。(富士駿東)
- ・資金需要は低調である中、創業等に係る融資の相談があった。(中部)
- ・資金繰り改善に向けた運転資金の相談が多い。一部、経営革新計画の実施に際する設備資金(モデルガーデン建設)の相談も受けた。(中東遠)
- ・補助金活用を絡めた設備資金の融資相談があった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、109件と前月(176件)に比べ67件減少した。建設業を中心に依然として人材確保は厳しい中、業務効率化に向けた取組みや従業員の定着率向上に向けた取組み等、企業内部の人材を効果的に活用しようという動きにシフトしつつある。

<経営指導員コメント>

- ・建設業を中心に若手人材の確保が難しい状況。(伊豆)
- ・人手不足を受け、現在の人員での効率的な業務運営に関する相談があり、公的施策等の支援策を適宜紹介した。(富士駿東)
- ・建設業における求人倍率は6倍を超える等、深刻な人手不足となる中、人材の定着率向上に向けた対策を講じる先が増えている。(中部)
- ・外国人雇用に関する説明会を開催したところ、本件への関心の高い多くの事業者に出席いただいた。(中東遠)
- ・働き方改革に関する企業としての対応についての相談が増えている。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・天城北道路が開通し、国道の交通量が大きく変化している。その影響を受け、FC店が撤退する等、地域の経済活動に影響を及ぼしている。(伊豆市)
- ・3月27日に深海魚イベント&夜桜まつりが開催されるほか、3月31日には白隠さくらまつりが開催される。また、深海魚料理「夜間当番店」制度が新たに開始される。(沼津市)
- ・例年同様、高天神社例大祭が3月末に開催される予定で、商工会が実行委員となり、出店者募集等を行っている。(掛川みなみ)
- ・昨年12月21日より販売を開始している地酒について、今年度は折込チラシ等の効果もあり、地区外からの購買者も多く、前年度よりも売れ行きが良い。(浅羽町)
- ・着地型観光の試みとして実施している「牡蠣小屋」であるが、今年度は台風の被害により養殖牡蠣の漁獲量が落ち込み、2月以降は当日予約のみの受付にて対応している。(新居町)